

OFFICE BANK サポート技術情報

更新日：2021/12/08

ダイヤルアップエラー[676]、[678]が発生

対象

- ・ OFFICE BANK Value Ver. 1.00 ~
- ・ OFFICE BANK Value 資金集中管理システム Ver. 1.20 ~

ダイヤルアップネットワークのエントリからの接続で、「エラー676:回線が使用中です。」、「エラー676:回線はビジーです。」、「エラー 678:ダイヤル先のコンピュータが応答しません。しばらくしてから、やり直してみてください。」が発生する場合、以下の確認事項を実行して下さい。

確認事項

1. 接続時の設定をご確認ください。

- ① Windows 11 の場合は、[スタート]ボタンをクリックし、[すべてのアプリ]を選択します。
[すべてのアプリ]の中の[Windows ツール]を選択します。
[Windows ツール]の中の[コントロール パネル]をダブルクリックし、(大きいアイコンの場合)[ネットワークと共有センター]アイコンを選択します。
[ネットワークと共有センター]メニューの中で[アダプターの設定の変更]を選択します。

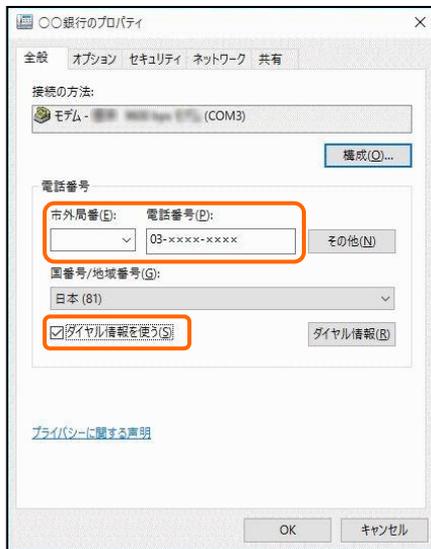
Windows 10 の場合は、[スタート]ボタンをクリックしてスタート画面を表示します。
[Windows システム ツール]の[コントロール パネル]を選択し、(大きいアイコンの場合)[ネットワークと共有センター]アイコンを選択します。
[ネットワークと共有センター]メニューの中で[アダプターの設定の変更]を選択します。

Windows 8.1 の場合は、スタート画面の下からアプリ画面を表示します。
アプリ画面を右スクロールして、[Windows システム ツール]の[コントロール パネル]を選択し、(大きいアイコンの場合)[ネットワークと共有センター]アイコンを選択します。
[ネットワークと共有センター]メニューの中で[アダプターの設定の変更]を選択します。

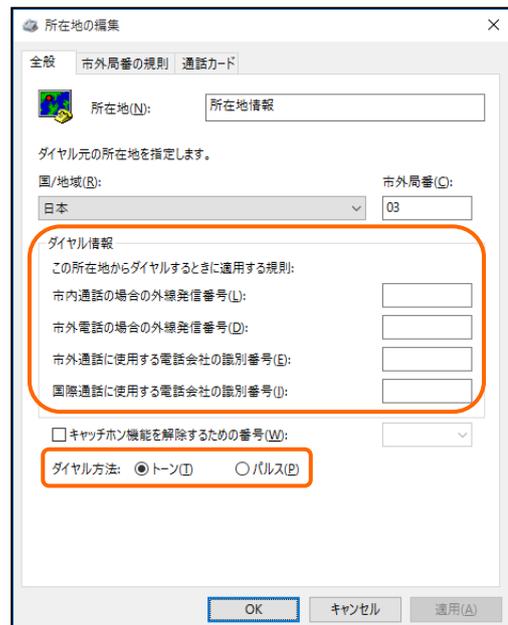
- ② 当システムで使用しているエントリが表示されますので、選択して右クリックの[プロパティ]メニューを選択します。

- ③ ダイヤルアップエントリの設定画面で「市外局番」「電話番号」「接続の方法」が正しく設定されているかご確認ください。

「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いている場合は、「ダイヤル情報」ボタンをクリックし④に進みます。



- ④ [電話とモデム]画面で該当する所在地情報を選択し、[編集]ボタンをクリックします。
- ⑤ [所在地の編集]画面の「ダイヤル方法」と「外線発信番号」の内容が正しく設定されているかご確認ください。
(「ダイヤル方法」は、プッシュ回線の場合は「トーン」、ダイヤル回線の場合は「パルス」を選択してください。)



2. 常駐ソフトの影響を受けている可能性が考えられます。

ウイルス対策ソフトなどの常駐ソフトがインストールされていると、これらのソフトの影響を受けてしまい通信が出来ないことがあります。OFFICE BANK 以外のソフトを一度すべて停止した状態にしてから再度接続を行ってください。

3. 接続先の金融機関のホストが混雑している可能性があります。

しばらくしてから、再度接続をしてください。

4. 接続先と通信速度が合っていない可能性があります。通信速度を変更して再度接続を行ってください。

関連 FAQ『通信速度の設定方法』をご確認ください。

以上